

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28年 6月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100579		
法人名	有限会社百樹		
事業所名	グループホーム百樹		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎2丁目15-2 (電話) 082-236-1527		
自己評価作成日	平成28年5月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100579-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年6月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気大切にしながら、個々の利用者の認知レベル・身体レベルの維持、向上を図るために職員がどう支援していくかを常に考え、日々の介護の中で出来ることを取り上げないように、利用者の尊厳に配慮した介護を実践している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>平成25年8月に開設のグループホームである。近くをJR山陽本線と県道（164号線）が走り、交通騒音の激しい市街地に在りながら、奥まった地形に囲まれ、閑静な住環境にある。近所に公園や保育園、小学校など、子どもたちの元気な声もこだまする活気に満ちた地域でもある。</p> <p>ホームの同一敷地内に法人の各種福祉事業の施設があり、相互の連携と施設間の空間を有効に活用し、開放的な雰囲気を創出している。家庭的な雰囲気を大切に、利用者が自分で出来ることは、自分で動いてもらい、一人ひとりの機能を活かした、各自の要望に適切に対応する利用者本位のケアを展開している。事業所の運営には、職員の発案を尊重し、参画意識の高揚を図るほか、代表者も地元出身で、町内会や女性会との地域交流も日々の活動の中で活性化させている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念が「福祉は人、人は心」より「感謝の心で共に働き、生きる」に変わり、職員にも朝礼時などの時間を使い浸透するようにし、実践につながるようにしています。	左記の新しい理念「感謝の心で共に働き、生きる」は、平成27年に代表者自らの提言によるもので、職員の意識を高め、職務にあたる柱としている。理念は朝礼時等の職員が集まる場で相互確認し、さらなる実践、浸透を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加させていただいています。(運動会・お祭り見学等)又、青崎保育園や小学校との交流で行き来させていただいています。気候の良い頃には、近所への散歩を行い挨拶させていただいています。	事業所のすぐ近くに公園があり、日常的に散歩に出かけることで、挨拶など日常的な交流がある。学区の運動会や祭り、保育園や学校行事などで交流があり、事業所は地域の一員として日常的に交流が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々のご相談に応えたり、認知症についての関わり等のアドバイスをさせていただいております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議では入居者様と家族様も参加し、グループホームの近況報告を行い、参加していただいた方からの意見をいただいています。さらに、その意見をサービスの向上につながるよう、職員にも伝えていきます。	運営推進会議には地域住民の参加者が多く、利用者の参加もあり、利用者の意見を大切にしている。事業所の運営報告のほか、事故報告および対策についても意見を求めている。会議での意見を踏まえ、ヒヤリハット報告を積極的に行い、事業所内の事故防止に向けた改善の取り組みにもつなげている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の際には、地域包括支援センターの職員様等に出席のお願いをし、会議後には開催状況記録をFAX送信しております。	市とは地域包括支援センターを通じて連携を深め、運営推進会議での意見交換のほか、日常的な情報収集に努めている。利用者の状況に応じて、市の担当部局との調整も行い、協力関係を築くように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部・内部の研修を行い、身体拘束についての理解を深めるよう指導を行っています。実際の介護現場では、拘束に相当しなくても少しでも近いと思われる時はその都度指導を行っています。玄関の施錠は20時以降防犯のために実施しています。</p>	<p>身体拘束をしないケア実践のため、積極的に外部研修に職員を参加させ、伝達研修のほか、半年ごとに管理者が講師を務め、職員全員の意識統一を図っている。</p> <p>現在、拘束は行われておらず、転倒の危険性が高い利用者には見守りや手引き歩行など、介護の工夫が見られる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部・内部の研修を行い虐待についての理解を深めるよう指導を行っています。実際の介護現場では虐待に相当しなくても少しでも近いと思われる時はその都度指導を行っています。また、入浴時には必ず身体チェックを行い、アザ・傷は報告を行うよう指導を行っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設内研修を行い、家族様からの相談時にはこのような組織があることなどを説明しています。又職員も制度や仕組みについて勉強し、知識の向上、支援につなげています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、細かい仕組み、体制、費用等について、書類を読み上げて説明しています。特に、体調管理や重篤時の対応等は丁寧に解り易く説明し、ご理解ご納得を頂けるよう心掛けています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様との関わりの中で、日頃から細かい要望などを聞き出して、出来るところから応えるように心がけています。ご家族が面会に来られた際は、希望や職員への要望、苦情等お聞きしております。苦情処理機関の存在などもお伝えしております。</p>	<p>入浴の希望や食べたいもの、外出したいなどの本人の希望に対しては、柔軟に対応している。また、家族の面会時には声かけを行い、希望の聞き取りを行うほか、手紙や電話などの取次など、運営に関する利用者や家族の意見を日々の支援に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、職員会議を、毎週、管理者会議を行い、職員の意見や提案について耳を傾け話し合っています。また、必要時には個別に話しを聞き、対応しています。	朝のミーティング時に意見交換を行っているほか、事業所内研修の際に、失禁などの介護上の問題点について、職員間で話し合いや意見交換が行われている。代表者も職員の意見に積極的に耳を傾け、運営に反映するよう努力されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は不在時を除き、朝礼、引継ぎに出席し、就業環境の確認を行っています。又、定期的に各自、自己評価を行い、目標を立てて勤務に当たっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員から勉強したい事を聞き、それをもとに研修内容を決め、毎月、研修を開催しています。又、外部の研修にも参加を促し、積極的に参加しています。資格研修等の費用も職員に負担がかからない様に施設が負担しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所とは定期的に交流し、意見交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用前の事前面接では、ご本人の生活の様子や利用することにあたっての不安や要望をしっかりと聞くようにしています。慣れるまでは、特にご本人の様子に注意し、要望や相談事を積極的に聞き、安心して生活出来るよう気を付けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前の事前面接では、ご家族やケアマネージャーを含めて、ご本人の今までの生活の様子やご家族の要望や不安をしっかりと聞くようにしています。入所されて数日は不安や不穏状態が見られる事から、ご家族との連絡を密にして、安心して頂けるよう気を付けています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前面接時に得た情報に加え、本人様を観察しながらニーズを見極め、今後の介護方針を協議しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の暮らしの中で、ご本人様に出来る事は協力していただいております。その人の得意とする分野を見極め、お掃除や裁縫などをしていただいたり、畑仕事の助言をいただいたりして、共に生活しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様に変化のあった時や、ご利用者様からご要望のあった時は、ご家族様に連絡を取り協力を仰ぎ、共にご利用者様を支援しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人やご家族の意向に沿うように、希望をお伺いして、施設でできることについては対応しています。電話・手紙・面会についてもお取次ぎしています。</p>	<p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの関係を維持するため、友人の訪問や手紙のやり取りを取り次ぐなど、支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご本人のレベルやこれまでの生活を踏まえ、リビングでの席やレクリエーションの時の席を考え、友人関係を作れるよう支援を行っています。またA・Bユニットの行き来を行い、ユニット内で固まることなく交流を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も、居宅介護支援事業所を通じてご家族様との関わりを大切に、疑問や不安に対しての対応をしています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様の思いや暮らしの希望を聞き、職員間で話し合い、対応出来る事は積極的に取り組んでいます。	利用者の外出希望には、庭の畑に行ったり、近隣の公園の散歩などで気分転換を図っている。演歌の好きな利用者にはテレビの歌謡番組の録画や、ランプの「神経衰弱ゲーム」は、記憶機能のリハビリにもなり、利用者の家族的交流に大きな効果を示し、本人本位の意向把握の好事例に挙げられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接を行い、日常のADLの確認とこれまでのサービス利用の経過についても確認させていただいております。ご本人様、ご家族様に話を伺い、できるだけこれまでの暮らしの延長として生活していただけるよう対応しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の関わりの中で、ご利用者様の思いや変化に気付くことが出来るように努め、得た情報を職員間で共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントをしっかりと行い、ご家族の意向も踏まえ、ご本人様に満足していただけるような介護計画になるよう努力しています。</p>	<p>利用者ごとに職員担当者制を採っており、ケアマネジャーの作成する介護計画に対し、実際の本人の状況を踏まえて問題点を把握し、改善策をカンファレンスにて検討している。現状に即した介護計画を作成する仕組みが構築されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録に日々の様子や変化を記録し、スタッフ間で共有して問題点を確認し、カンファレンスにて話し合い、介護計画に反映するようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様やご家族様のニーズに変化があったときには、要望をお伺いし、具体案の提案をさせていただいております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のイベントにはできるだけ参加して、楽しんでいただけるようにしています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用開始時に充分話し合い、ご本人様、ご家族様の意向に沿う医療を受けられるように支援しています。週に一度の往診も行い、利用者様の健康管理に努めています。</p>	<p>定期的な協力医療機関の訪問診療の受診があるほか、かかりつけ医の整形外科や精神科などの専門医への受診は、家族対応で受診できるよう支援している。歯科治療については、訪問歯科診療をうけ、口腔衛生の徹底を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護と連携をとり、利用者様の健康管理に努めています。体調不良時には看護師を通して、主治医との連携を図っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、施設での生活状況等の情報提供を行います。状況に応じ、管理者が病院に伺います。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用される時点で、重度化への指針や緊急時の体制等について、入念にお話させて頂いております。ご本人、家族様の意向を大切に考えております。</p>	<p>契約時に重度化した場合の支援について説明するほか、実際に重度化した場合には、医師を交えて再度対応を確認している。開設当初からの看取り事例の蓄積があり、本人や家族の意向を踏まえ、チームで多様な支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応についての施設内研修を行っています。事故発生時は事故防止委員会を開き、事故の原因、今後の対応などを話し合っており、意見交換をしています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に防災訓練や研修を行っています。消防署にも訓練指導を行っています。</p>	<p>至近距離に地区の消防署があるのが最大の利点である。年2回の自主的な防災・避難訓練のほか適宜、消防署の指導による消火器の使い方や火災時の対処方法について、詳細な説明を受けている。その一方、火災、自然災害等の避難方法について、地域との協力体制の構築に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様への声掛けは、尊敬の念を持って対応しています。対応についての研修を行い、職員同士でも注意し合える環境を作るようにしています。	新入職員に対しては、「ちょっと待って…」など言葉による拘束（スピーチ・ロック）の指導を重視している。トイレに行くことを何度も訴える利用者には、その都度トイレに誘導するなど、一人ひとりの人格を尊重し、職員の対応により、尊厳を保つ取り組みがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意し、声掛けに気を配りながら、ご本人様の意向を引き出せるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員のペースではなく、その方に寄り添った支援が出来るよう、ご利用者様の希望や思い、その日の体調等を考慮しながら支援するよう心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日に着たい服や髪形などをご本人様に決めて頂き、介助が必要な方はその希望に沿って、職員が対応しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて食事がとれるように食事中は音楽をかけたり、席の配置を考えたりと、環境に気を配っています。片付けなどは台拭き、トレー拭き等、安全に考慮しながら、無理のない範囲で職員と一緒にしています。	朝食は事業所内で作り、昼と夜は専門業者の弁当を利用しているものの、季節行事の際は、ちらし寿司や炊き込みご飯等、季節を感じられるように配慮がなされている。また、みそ汁は必ず温かいものを提供しているほか、利用者同士の状態に合わせ、席の工夫も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事はご本人様の状態に合わせて、刻みやおかゆなどの食べやすい形態にして提供させていただいております。食事時や10時、3時のお茶の時間以外にも声掛けし、出来るだけ水分を摂ってもらえるよう支援しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを全員行っています。ご本人の状態に合わせて、確認、介助をしています。又、必要時は訪問歯科を受けて頂き、口腔内の清潔に気を付けています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>自立での排泄を目指す為、個々の排泄パターンを知り、個人に合わせてトイレ誘導の声掛け、対応をしています。排泄介助の後は臭いが残らない様に気を付け、失敗した際も自尊心を傷つけないよう、気を付けて対応しています。</p>	<p>排泄チェック表を用いて排泄状況を管理し、定時誘導が行われているほか、声かけの工夫もなされている。その結果、排泄の失敗も少なく、トイレで排泄ができるような支援がなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>状態をみながら薬を飲んで頂くこともありますが、日頃から水分摂取や体操、散歩等身体を動かす時間を作り、便秘の予防に努めています。又、個々の排便パターンを把握し、トイレ誘導、腹部マッサージ等を行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本入浴日は設定していますが、順番や時間など、なるべくご利用者様の希望に沿って対応しています。</p>	<p>まず、足浴で寛ぎの気分を保ち、利用者の精神的負担の軽減と全身の皮膚の観察を経て、浴槽に入る手順としている。入浴拒否の利用者には、誘い方を工夫するほか、入浴後には、保湿クリームを全身に塗ることで皮膚の乾燥を防ぎ、利用者に入浴の安楽な気分を満喫させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	居室内の温度、明るさ、寝具等環境に気を配っています。夜間良眠出来るよう、日中は外に出て精神面の安定を図ったり、足浴を行ったりしています。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬の処方に変化があった時は職員にも伝え、ご本人の変化の把握に努めるようにしています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	日々の関わりの中で、ご利用者様が好きな事、出来る事を見つけ、役割を持って生活出来るよう支援しています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	職員の人数の問題もあり、完全に個別の対応は難しい面もあります。出来る限り利用者様の希望には応えるようにしています。天気の良い日には近所へ散歩を行っています。遠くへの外出の希望の有る方については、ご家族様にお伝えし支援しています。	事業所は広い敷地空間に恵まれ、その敷地内で寛ぎ、安全に散歩できる利点を備え、近所の公園や事業所の畑などに散歩に出かけるほか、戸外でラジオ体操やボール遊び、洗濯物干しや取り込みを手伝ってもらうなど、その日の天候を見ながら、利用者が外気に触れるよう、柔軟に対応する外出支援を行っている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	利用開始時に金銭管理についての説明をご本人・ご家族様に行っています。利用者様に合った方法での支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば対応しております。家族から手紙が届いた時はご本人様にお渡ししたり、職員が読んでさしあげることもあります。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>清潔で生活しやすい空間を作る為、各居室、共用スペース等掃除の仕方をマニュアルで定め行っています。又、花を飾ったり、季節に合わせて装飾をしたりと、季節を感じる事が出来るような空間作りに努めています。</p>	<p>事業所建設時に、他所のホームの見学結果を集約した斬新な共用空間が特徴である。二つのユニット間を自由に回遊できるで方式を採用し、利用者の活動、職員の見守りの視野の拡大など、多様な効果を発揮している。自然採光、風通しもよく、広い空間を保ち、和気あいあいと過ごせる寛ぎの共用空間としている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ご本人の生活の仕方や人間関係を理解し、過ごし方や座席の配置を考える等の配慮をしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用開始時にご本人様の思い出の品やご家族の写真等お持ちいただき、ご自分の部屋としてくつろげる空間を作るよう心掛けています。ご仏壇をお持ちになる利用者様もいらっしゃいます。</p>	<p>各居室の入口には、動物や花の名称と利用者の氏名を図案化して掲示し、各自の居室確認に役立っている。室内には仏壇など、利用者が馴染んできた調度品が持ち込まれ、来客があれば椅子を配置するなど、本人が心地よく過ごせる環境整備に、職員の気配りの良さが伺える。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者様に何が出来るか、又は何が出来ないかを職員が把握し、手を出し過ぎない介護をするよう心掛けています。そのためにケアプランを作る際、担当者はしっかりとアセスメントを行い、職員全員が利用者様の現在の状況の把握が出来るよう努めています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム百樹

作成日 平成28年8月19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	家族の面会があまりなくケアプランの作成時の参加や意見の反映が難しい。	本人とご家族の意向をしっかりと取り入れたケアプランを作成、実行する。	あらかじめご家族様とは電話で密に連絡を取り出来るだけ参加をお願いする。	1年
2	2	地域の方々との関わりが少ない。	地域の方々と交流を深める。	運営推進会議や季節の行事を通じて地域の方々と交流する。	1年
3	13	災害時の全職員の対応	災害時のマニュアルを全職員がしっかりと把握し利用者様の安全を守ることができる。	防災訓練の実施を通し全職員が有事の対応ができる。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。